

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	ヒューマナイズングの実践小委員会		主 査 名: 讚井純一郎 就任年月: 2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境心理生理運営委員会)		委員長名: 久野 寛 主 査 名: 大井 尚行
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	①ヒューマナイズングの実践状況に関する情報を整理する。(2009～2012 年度) ②実践を前提に、ヒューマナイズング研究の研究手法、研究対象の拡張可能性検討。 (2009～2012 年度) ③シンポジウム、チュートリアル開催。(2009～2012 年度) ④報告書のとりまとめ、刊行物の企画。(2009～2012年度)		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無: 有		
	宇治川正人 (竹中工務店)、成田一郎 (大成建設)、丸山玄 (大成建設)、山田哲弥 (清水建設)、讚井純一郎 (関東学院大学)、小島隆矢 (建築研究所)、植木暁司 (建築保全センター)、小野久美子 (国土交通省)、古賀誉章 (東京大学)、影山優子 (日本社会事業大学)、佐藤隆 (JR 東日本)、他1名		
設置 WG (WG 名: 目的)	なし		
2010 年度予算	10,000 円	ホームページ公開の有無: 無 委員会 HP アドレス:	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (3 月実施予定1回を含む)
刊行物 (シンポジウム資料除く)	1. (書名)
講習会	1. (名称) 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	* 建築学会大会 (北陸) における OS「環境心理研究の実践(2)」を企画・実施
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 名 (資料名)
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. ヒューマナイズング研究の研究対象、研究手法の拡張可能性検討を目的に、2 回の勉強会 + 研究所見学会 (+ 意見交換会) を実施 (一部、予定)。 2. 2011 年度以降の「ヒューマナイズングの実践」小委員会の活動方針、内容についての討議。これまでの活動を継続するものの、情報収集力を強化を目的に委員会メンバーの見直しを実施 (2011 年度より)
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2010 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A (B) C D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>①ヒューマナイズングの実践状況に関する情報を整理する。(2009～2012 年度) ②実践を前提に、ヒューマナイズング研究の研究手法、研究対象の拡張可能性検討。 (2009～2012 年度) ③シンポジウム、チュートリアル開催。(2009～2012 年度) ④報告書のとりまとめ、刊行物の企画。(2009～2012年度)</p> <p>という活動計画に対し、①、②の情報収集については順調に推移しているが、③チュートリアル／シンポジウムの企画、④報告書のとりまとめといった出力については未着手。</p> <p>後半2年の活動は、情報収集(勉強会等)を継続すると共に、活動成果の出力方法について、具体的検討も併せて進めていく所存である。その際、建築生産小委員会との連携の可能性を検討することとする。</p> <p>また、情報収集力の強化、建築生産小委員会との連携を念頭に、委員構成を見直した。(2011年度より新体制に移行予定)</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価:小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価:小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価:小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価:小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。